

カフェレター



2021年 1月 18日発行
発行:たかみや人権福祉センター
☎57-1330

新年、明けましておめでとうございます

静かな静かなお正月。どこかに出かけることもなく、ゆっくりと、三が日を家で過ごさせてもらいました。

お茶を飲みながら、窓の外を眺めておりましたが、車一台通らない、人の姿も全く見えない、動いているのは、空から舞い降りる雪だけ、音も聞こえない、静かな静かな贅沢な時間がありました。思えば、お正月と言えば、遠方の兄弟が一堂に会して、賑やかで賑やかで、嫁の私は、一日中台所で食事の支度、洗い物、食事の支度、洗い物、紅白を座って見ることなど、はなから諦めていたことを思い出します。子どもたちが大勢走り回っていた賑やかなお正月も懐かしいですが、こんな静かで、何もなくていい休日は、思いがけないご褒美。あっという間に終わりましたが。

しっかり充電させてもらったので、今年も仕事頑張ります。

皆さんは、どんなお正月をお過ごしでしたか？

コロナウィルスの感染拡大は、年の初めから、昨年以上に深刻なものとなっております。抗ってもどうしようもない、コロナウィルスのある生活を受け入れ、工夫を探し、楽しい毎日を創っていきたいですね。

本年も、どうぞよろしくお願い致します。

まちかどカフェ 従業員一同

作ってみました！

野部の「なかよしの会」の皆さんから、こんなにかわいい猫ちゃんたちが届きました。かごあみ教室の柘川先生にご指導いただき、皆さんでワイワイ楽しく作られたそうです。心がほっこり、まったりしますよね。



余った布で、こんなステキなネックレスが出来たそうです。とてもおしゃれですよ！

まちかどカフェ スタッフの紹介

まちかどカフェは、たくさんの心優しいスタッフに支えられています。今月は、イシャンさんが中国のことをお話していただきます。

中国のお正月飾り

ダ ジャ ハウ（皆さんこんにちは）、私は杜弋香（ドウ イシャン）と申します。2014年に上海から安芸高田市に来ました。はじめの頃は、言葉や食事など生活の色々なことが大変でした。今はすっかり日本の生活に慣れて、ここでの生活が好きになりました。2018年から多文化共生推進課で通訳の仕事をしていただいております。よろしくお願いたします。

さて中国の正月は「春節（しゅんせつ）」と言います。春節とは中国の三大節句（春節・端午節・中秋節）のひとつで、旧暦の元旦（旧正月）のこと。旧暦のため、春節の期日は年によって変わりますが、毎年おおむね1月半ば～2月半ばの期間となります。2021年の春節は2月12日（金）、2月11日（木）が大晦日（除夕）です。



中国の年画

年画（ねんが）とは、中国の民間絵画であり、春節に民家内部や門口に飾られる版画である。新しい年の幸福・豊作・金儲けなどを願って貼られる。一般にその色彩は鮮やかで、表現される内容は日常生活・労働・生産・教育・説話・伝説から芝居・花鳥もの、社会生活のあらゆる面が反映されている。

年画の起源は門神（門を守る一対の神像の絵）にあり、吉祥を題材した年画が盛んになりはじめた。

中国結び

中国結び（アジアノット）と呼ばれる、結び紐を編んで作った飾りです。中国ではこういった飾りを、特に春節(旧正月)に好んで飾ります。（春節用、という限定ではないので、一年中飾っても大丈夫ですよ）



気が付けば大晦日

中国もお正月に“春聯”という縁起のいい言葉が書かれた赤い紙を門に飾りますが、上にも書いた通り中国の正月というと旧正月なので、偶然にも欧米方式になっちゃって、クリスマスの装飾がそのままの状態でも年を越すのです。（ただし中国の場合は春節間近まで1ヶ月近く飾っていますが）

世界の微妙な習慣の違い、面白いですね。